



神戸市監査委員 坊池 正

プロフィール
 現 在 神戸市議員3期(12年)
 自由民主党神戸市会議員団 政調会長
 神戸市監査委員
 経済港湾委員会
 大都市行財政制度に関する特別委員会

西区生まれ・育ち!

昭和25年 西区の酪農家に生まれる
 昭和38年 神戸市立神出小学校卒業
 昭和40年 神戸市立神出中学校卒業
 昭和43年 兵庫県立三木高等学校卒業
 昭和45年 消防吏員 拜命
 昭和57年 専任救助隊(隊長を務める)
 平成19年 神戸市消防局 退職
 平成19年 37年間の消防吏員を経て神戸市議員当選

坊池 正

ほういけ ただし



ご挨拶

迎春の候、皆様ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素より格別のご厚情を賜り心から感謝申し上げます。

坊池 正は、平成30年度6月議会において、議会選出による神戸市監査委員に選任され、市の財政事務等や事務の執行が、法令等に従って適正に行われているか、また合理的かつ効率的に行われているかどうかといった観点から各部局にも属さずに監査を行っております。

昨年の神戸市「ヤミ専従」では、37年間勤めておりました「神戸市消防局」や警察、自衛隊、海上保安庁などは労働組合が適用されない職務でしたので、遺憾にたえない問題でした。その為、平成30年9月から10月まで開会されておりました9月議会(決算市会)では決算が11月議会(12月)に見送られる事になり、市民の皆様にお詫び申し上げ、監査委員業務の遂行に当たっては最大限の努力をしていく所存でございます。

また、平成30年度9月議会では自民党会派を代表し、西神中央のまちづくりと交通手段、農村地域の活性化と農地・農道の災害復旧等について、一般質問を行い、久元市長の決断により、西区に次世代型の交通手段の導入検討となり、運用に向け努めて参ります。

最後に、近畿圏を襲った大型台風21号(平成30年9月4日)、北海道 胆振東部地震(平成30年9月6日)による災害発生後に、停電のため、水道、ガス等が1週間以上も使えなかった地域も御座いました。また、災害にいつどこで遭うかわかりませんので、普段から持つておくものや、すぐに持ち出せるよう緊急時の持出袋などのリストを掲載いたしました。阪神・淡路大震災から24年を迎え、いざというときに備えて、確認、準備して頂けたら幸いです。

これからも市民の安心・安全のために頑張ってお参ります。今後とも変わらずのご理解、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

神戸市議員 坊池 正
神戸市監査委員

西神中央を中心とした次世代型の交通手段について

Q 坊池 正 (9月定例会 一般質問) 平成30年10月28日

高齢化が進む市街化調整区域や住宅が増加する岩岡地域などでは、市民の利便性向上のために公共交通の充実が求められている。

西区では、過去に地下鉄の延伸を行うという構想もありましたが、膨大な整備費がかかることから、現在は財政的に議論できるような状況ではないです。一方、高齢化が進む市街化調整区域や住宅が増加する岩岡地域などでは、市民の利便性向上のために公共交通の充実が求められている。都心エリアを中心にLRTやBRT等の次世代型の交通手段について様々な検討が進められているが、西神中央はこれからさらに重要な拠点となるため、西神中央を中心とした次世代型の交通手段の実現可能性を検討すべきと考えるがどうか。

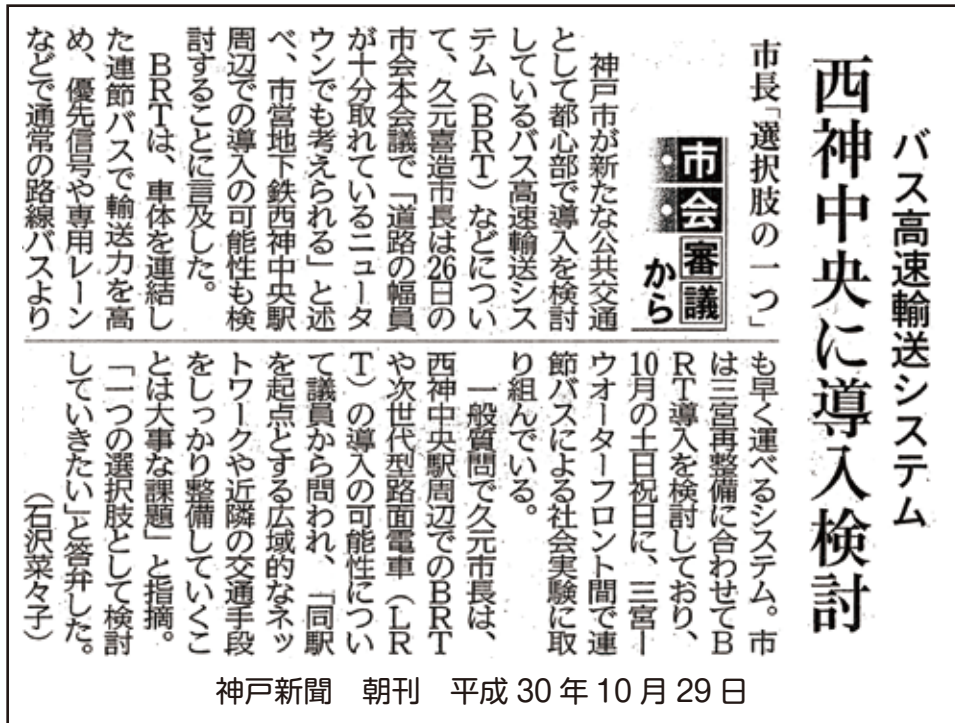
A 久元市長

LRT・BRTなどの道路幅員が比較的十分確保できているニュータウンエリアの可能性を追求し、検討を進めていきたい。

西神中央駅を起点とする周辺の広域的な交通ネットワーク、また、近隣の交通手段をしっかりと整備していくことは大変重要な課題だと認識している。

今後、西神中央駅周辺では、例えば、農業公園の再整備構想も具体化していかなければならない。また、工業団地等への入居も順調に進んでおり、そこで働く人たちの足の便を確保していく必要性が高まっている。

これらのことを踏まえ、LRT・BRTも交通手段の選択肢の一つとして、道路幅員が比較的十分確保できているニュータウンエリアの可能性を追求し、検討を進めていきたいと考えている。



● LRTとは?

次世代型路面電車システム(Light Rail Transit)、低床式車両の活用や軌道・電停の改良による乗降の容易性、定時性、速達性、快適性などの面で優れた特徴を有する次世代の軌道系交通システム。

● BRTとは?

連節バス(Bus Rapid Transit)、バス専用道、バスレーンなどを組み合わせることで、速達性・定時性の確保や輸送能力の増大が可能となる高次の機能を備えたバスシステム。



西神中央を核とした西部地域のまちづくり

Q 坊池 正 (9月定例会 一般質問) 平成30年10月28日

神戸市西部地域全体の活性化を図るためには、西神中央駅周辺一体のリノベーションを面的に進めることが重要である。

西神中央を核とした西部地域のまちづくりについて三宮やウォーターフロントにおいて大規模な再開発が動き出す中、西区において西神中央では西区役所の移転整備や新西図書館、新たな芸術・音楽ホールの整備が予定されています。

整備の効果を最大限発揮し、神戸市西部地域全体の活性化を図るためには、単体の施設整備にとどまらず、西神中央駅周辺一体のリノベーションを面的に進めることが重要であります。OMこうべが新西区庁舎を整備する予定であり、駅周辺の多くの施設を管理運営していることから、OMこうべと連携し、西神中央の魅力向上や活性化に繋がる更なる再整備を検討すべきと考えるが、見解を伺いたい。

A 久元市長

単体の施設整備にとどまらず、ハード・ソフトの両面において、駅周辺一体のリノベーションを面的に進める。

西神中央駅周辺は、大型商業施設やホテルなどを誘致し、総合病院や西区民センターなどの行政関連施設を立地、また、周辺地とを結びバスネットワークのターミナル機能を持つ交通結節点でもある。

まち開きから36年が経過し、また、西区新庁舎の西神中央への移転を契機として、今年度より、駅周辺一体の計画的なリノベーションに着手した。西区新庁舎や新図書館、そして新しい文化・芸術ホールについては、各施設それぞれが拠点的性格を有しているため、議員ご指摘の通り、単体の施設整備にとどまらず、既存の施設との相乗効果も発揮させるため、ハード・ソフトの両面において、駅周辺一体のリノベーションを面的に進める必要があると認識している。

西神中央駅周辺において、商業施設や業務施設、駐車場、中央広場等の運営を一手に担っているOMこうべと連携し、動線の再整備や、動線沿いの賑わい創出を実施し、さらには集客力の高い商業テナント誘致や中央広場の魅力向上などの検討にも着手していきたい。またデザインという観点から、地域の皆さまの意見を聞くと同時に、学生グループの点検調査による若い世代の意見も聞いており、デザインも含めた西神中央駅前のリニューアルを積極的に進めていきたい。



平成30年10月28日 第2回定例会 一般質問



監査委員として新長田合同庁舎・ポートアイランドしおさい公園へ

お問合せご相談は
神戸市議員

坊池 正

ほういけ ただし
まで

651-2311 神戸市西区神出町東100
TEL 078-965-0400 FAX 078-965-0400
E-Mail bouike@nifty.com

農村地域への移住・Uターンの手続きについて

Q 坊池 正 (9月定例会 一般質問) 平成30年10月28日

移住やUターンにあたってのネックの1つには、市街化調整区域内での住宅建設等の各種公的手続きである。

移住やUターンにあたってのネックの1つには、市街化調整区域内での住宅建設等の各種公的手続きにもあると考えている。私の住んでいる近くで1件、平成29年9月に農地の転用許可がされ、開発、建築確認申請、工事着手と1年8ヶ月程度で、入居を開始された。規制緩和前は申請手続きに2年近くかかっていたのが、現在2年以内に収まっている。市街化調整区域における規制緩和や、地域の課題解決を支援する里づくり支援事業などを総合的に取り組んでいるが、神戸里山暮らしの取り組みは、農村地域の活性化にどのように効果をもたらしているか評価しているのか。また今後、スピード感をもって対応が必要であると考えているが、里山暮らしをどのように進めていくのか、見解を伺いたい。

A 久元市長

農政部だけでなく、庁内で議論、認識を皆が共有し、政策を展開していかなければいけないと感じている。

農村地域への移住定住への規制緩和については、平成27年から3回にわたり、住居系の開発許可要件を緩和した。これまで世帯分離住宅等に係る許可90件のうち、新たに規制緩和によるものが25件となっている。また、地元出身者のUターンや1ターンの促進に一定の効果があつたと考えている。

さらに、既存住宅等の農家レストランや里づくりの拠点施設等への転活用を可能とした農村起業に向けた規制緩和と、それに合わせた施設改修の支援事業を創設している。

一定の成果が上がっているとは思いますが、農村地域の活性化は、農政部だけでなく庁内で議論、認識を皆が共有し、政策を展開していかなければいけないと感じている。

農地・農道の災害復旧について

Q 坊池 正 (9月定例会 一般質問) 平成30年10月28日

自然災害が頻発する中、「また農業をがんばろう」と思えるような市の支援により、農家の負担軽減を図るべきと考えるが。

平成30年の豪雨や台風により、市内の農村地域では甚大な被害が発生しました。被災された農家の経営再開に向け、国や県の災害復旧事業を活用するとともに、農地の災害復旧事業については、現在、JAが事業主体となっておりますが、事業に必要な測量費等が地元負担になっている。自然災害が頻発する中、農家も次に向かって「また農業をがんばろう」と思えるような市の支援により、農家の負担軽減を図るべきと考えるがいかがか。

A 副市長

災害の実態や地元の意見を踏まえつつ、通常の改修制度と災害復旧についての制度のあり方について検討していきたい。

農地の災害復旧は、工事費の地元負担に加え、災害査定に必要な測量設計費やJAの事務費が農家負担となっている。

自然災害が頻発し、災害による農家負担が増加している点や、市として道路移管を進める観点から、災害の実態や地元の意見を踏まえつつ、通常の改修制度と災害復旧についての制度のあり方について検討していきたい。

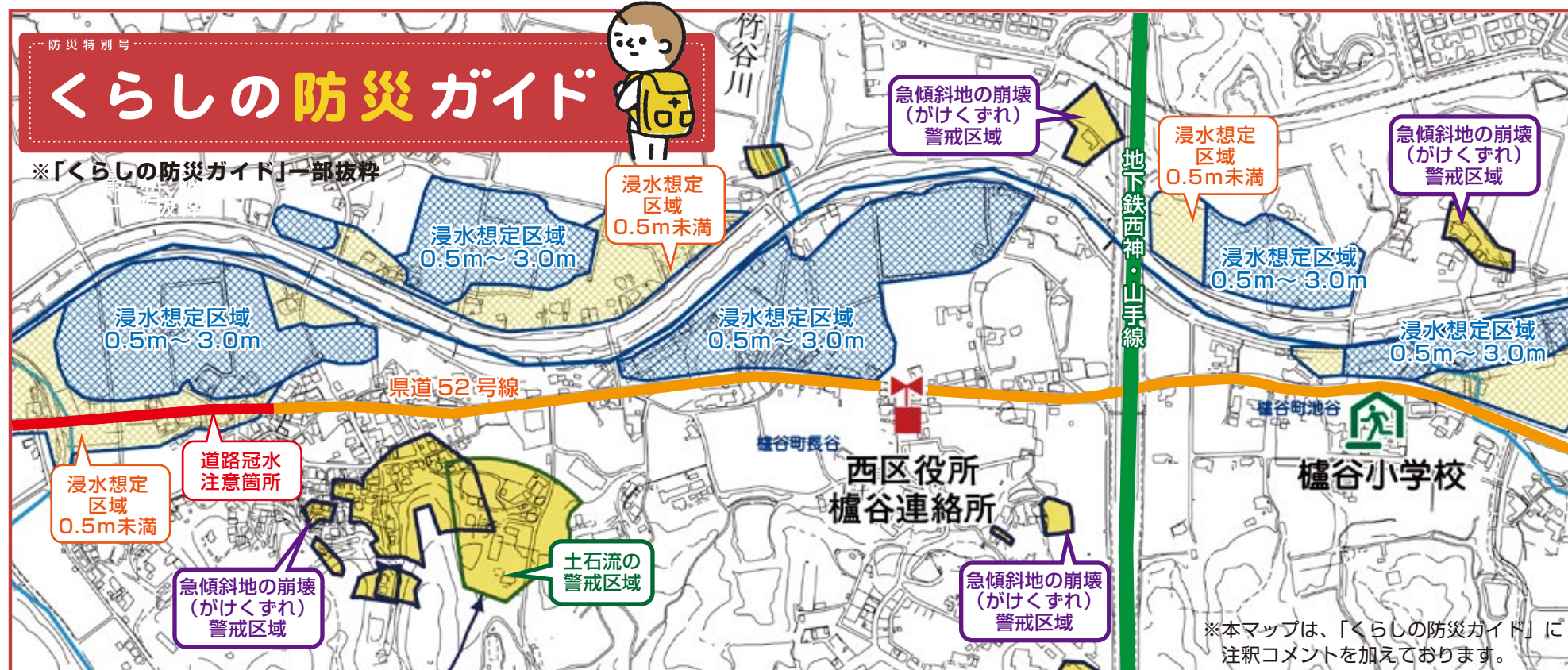
災害時に命を守る一人一人の防災対策

地震、津波、台風、大雨などの自然災害は、時として、想像を超える力で襲ってきます。しかし、日頃から防災対策をしておくことで、被害を少なくすることはできます。防災対策で大切なことは、自分の身の安全を守る「自助」です。そのポイントを紹介します。



最初に「**くらしの防災ガイド**」をチェックする

土砂災害・水害に関する危険予想箇所図でチェック！



地震・津波のとき

1 家の中の安全対策をしておく

阪神・淡路大震災や新潟県中越地震などでは、多くの方が倒れてきた家具の下敷きになって亡くなったり、大けがをしたりしました。大地震が発生したときには、「家具は必ず倒れるもの」と考えて、防災対策を講じておく必要があります。

2 地震発生

- 身の安全を確保する。(姿勢を低く、頭を守って、動かない)

3 地震発生後

- 揺れがおさまったら、まず火を止め、ガスの元栓を閉める。
- 出入り口を確保する。
- 火災が発生したら初期消火をする。あわてて外に飛び出さない。
- テレビ、ラジオ、スマホ、携帯電話などで津波・大津波警報の有無を確認。

4 津波・大津波警報の発表あり

- 水平避難：津波浸水想定地域の外へ、徒歩で移動。

5 逃げ遅れた場合

- 垂直避難（緊急時）：近くの丈夫な建物の3階以上へ避難。

1 「くらしの防災ガイド」を手元に

2 自宅位置をチェック

3 自宅周辺の危険なエリアをチェック

4 緊急避難場所等の避難先をチェック

5 避難先までの避難ルートをチェック

6 実際に歩いて、避難ルートをチェック

台風・大雨のとき

1 台風の接近、大雨の恐れ

テレビ、スマホ、携帯電話などで情報を集める集めた情報をもとに避難のタイミングを決め、安全な場所へ避難を開始。

台風が神戸の西側を通過する時は注意が必要です。

2 家の外の備え 大雨が降る前、風が強くなる前に！

- 窓や雨戸はしっかりとカギをかけ、必要に応じて補強する。
- 側溝や排水口は掃除して水はけを良くしておく。
- 風で飛ばされそうな物は飛ばないように固定、家の中へ格納する。

3 家の中の備え

- 非常用品の確認 懐中電灯、携帯用ラジオ、衣類、非常用食品、携貴重品など。
- 室内からの安全対策 万一の飛来物に備えてカーテンやブラインドをおろしておく。
- 水の確保 断水に備えて飲料水を確保するほか、浴槽に水を張るなどして生活用水を確保する。

4 立ち退き避難

- 災害が発生する前に、危険なエリアから離れ、安全な場所へ避難。

5 逃げ遅れた場合

- 災家屋の上階や、近くの丈夫な高い建物など安全な場所へ避難。

災害に対して備えていますか？

なぜ備えるの？

平成30年9月4日の台風21号では、兵庫県内では9月4日以降、延べ41万8千戸で停電が発生。台風通過から丸1日が過ぎた9月5日夜の時点でも4万戸超が未復旧のままで、尼崎市では、停電で送水設備などが止まり、断水地域が広がりました。

ご家庭での備えの方法(災害に備えて)を3つに分類しました。

1 いつも使うバッグやポケットに入れておきましょう。いつも持っておくもの

- 1: ライト・ペンライト (携帯でも代用可能)
- 2: 携帯電話 (充電器・モバイルバッテリー できれば)
- 3: 家、車の鍵
- 4: 財布 (小銭も入れておく)
- 5: 身分証明書
- 6: 健康保険証
- 7: ポケットティッシュ
- 8: 飲料水
- 9: 携帯食 (個包装で持ち歩きのしやすいもの)



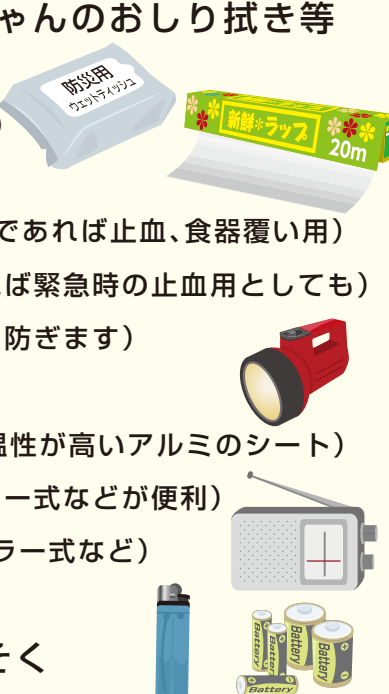
いつでもどこで災害に遭うか分からないため

- 10: 歯ブラシ (ごえん性肺炎を防ぎます)
- 11: 常備薬
- 12: マスク (粉塵を防ぎましょう)
- 13: ばんそうこう
- 14: 筆記用具 (できれば油性ペン)
- 15: ハンカチ、手ぬぐい
- 16: 笛、鈴 (居場所を知らせる用です)
- 17: ポリ袋(大・小)



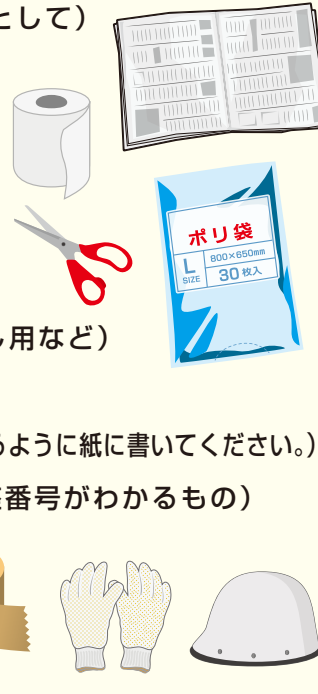
2 いつも持っておくものに加えて用意してください。両手のあくリュックサックに入れ、取り出しやすい所に！一時避難の持ち出し用

- 1: タオル (洗って乾かしたもの)
- 2: ウェットティッシュ、赤ちゃんのおしり拭き等
- 3: 着替え・肌着など
- 4: 飲料水 (1人最低 500ml)
- 5: 加熱がいらぬ食糧
- 6: 食品用ラップ (清潔な物であれば止血、食器覆い用)
- 7: 生理用品 (清潔な物であれば緊急時の止血用としても)
- 8: 歯ブラシ (ごえん性肺炎を防ぎます)
- 9: 紙コップ
- 10: サバイバルシート (保温性が高いアルミのシート)
- 11: 懐中電灯 (手回し・ソーラー式などが便利)
- 12: 携帯ラジオ (手回し・ソーラー式など)
- 13: 充電器、予備の乾電池
- 14: マッチ、ライター、ろうそく



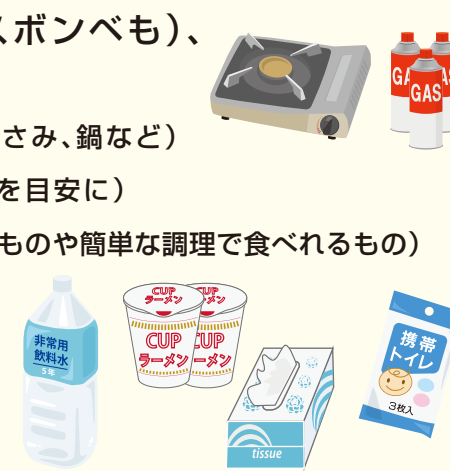
緊急時の持出用として

- 15: 予備のメガネ・コンタクトレンズ、補聴器
- 16: 新聞紙 (保温、火種、折って紙皿として)
- 17: ポリ袋(大・小) 数枚
- 18: トイレトペーパー(1ロール)
- 19: ナイフ、はさみなどの刃物
- 20: 雨具
- 21: 粉ミルク、離乳食
- 22: ストール (防寒、授乳時の目隠し用など)
- 23: 紙おむつ
- 24: 緊急時の連絡先 (子どもにも分かるように紙に書いてください。)
- 25: 預貯金通帳・印鑑 (支店・口座番号がわかるもの)
- 26: 布ガムテープ
- 27: 軍手・ゴム手袋
- 28: ヘルメット (頭を守るもの)



3 普段の生活で一つ開封したら新しい物を買って置くなど少し多めに買って置くことで役に立ちます。長期の避難生活に役立つもの

- 1: カセットコンロ(ガスボンベも)、IHクッキングヒーター
- 2: 調理用品 (キッチンはさみ、鍋など)
- 3: 飲料水 (1人1日3Lを目安に)
- 4: 食糧 (そのまま食べられるものや簡単な調理で食べられるもの)
- 5: 調味料
- 6: キッチンペーパー
- 7: ポリ袋(大、小)
- 8: ティッシュペーパー



- 9: 簡易トイレなど (災害用トイレなど断水状態でも使用できるように)
- 10: トイレトペーパー (南海トラフ地震では不足するとされています)
- 11: 毛布
- 12: レジャーシート (クッション付であればなお良い)
- 13: 救急セット (毛抜き、ガーゼ、包帯など)
- 14: パール、のこぎり、ロープ、ハンマー、ジャッキなど救助用品
- 15: だっこひも (はぐれた時に備え、連絡先など書いておきましょう)
- 16: バケツ
- 17: 使い捨てカイロ

